キャラクター名
ソフィ・ヒューズ

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ブラックドッグ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	
オプショナル		年齢	18	性別	女
覚醒	素体	衝動	殺戮	初期侵食率	34 %
出自	結社の一員	経験	脱走	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0	1	3	9
感覚	1	0	0			1
精神	2	0	0			2
社会	1	0	0			1

HP	40
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	2		知覚			意志			調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
西洋剣	白兵	8r+4		4		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
コネ：UGN	
コネ：情報屋	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
黒葛 桐夜(つづら とうや)	P 遺志	N 悔悟		
両親(クズ)	P 感服	N 恐怖		
実験体	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
CR:サラマンダー	2		ﾒｼﾞｬｰ					
効果： クリティカル値-LV								
炎の刃	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器		白兵		
効果： 組み合わせた攻撃力を+[LV×2]								
終末の炎	2	2	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	80↑	
効果： LV×5点任意のHP消費。攻撃力を+[消費したHP]								
アッタクプログラム	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器		白兵		
効果： 判定の達成値ダイスを+[LV×2]								
炎の加護	3	2	ﾏｲﾅｰ	至近	自身			
効果： SLの判定ダイス+LV個								
炎陣	1	2	ｵｰﾄ	至近	自身	自動		
効果： 味方をかばう。1メインプロセス1回								
熱感知知覚	★		ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動		
効果： 熱を視覚として知覚する、暗闇でも熱でものが見え、人の感情や体調の変化も読み取れる。								
セキュリティカット	★		ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動		
効果： セキュリティを切ったり、電子的なロックを解除する								
凍結保存	★		ﾒｼﾞｬｰ	至近	単体	自動		
効果： 人体を凍結させる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

『性格』
·誰にでも強気にあたる(ツンデレ…出来たらいいな)
·基本的に人を信じてない。無表情

『背景』
生まれた頃から親に子供とは見られず被験体の一人として見られてきた。歩けるようになれば剣を持たされ、剣をふるえるようになれば被験体同士で殺し合いをさせられた。負けたら死に、勝てば生きられるが足元には傀儡とかした人間が増えるばかりだった。

いつまでも意味のわからない実験をされ殺し合いをさせられ…この運命が変わることは一生ないと思っていた。しかし、転機は訪れる。
いつも通り素体としていじられている時、突如炎が体から出たのだ。
母は言った「実験に成功した！流石私たちの子だわ」と父は言った「それでこそ俺の子だ！」と……

それが初めて実の親から子供として見られ、認められた時だった……しかし、ソフィから出てきたものは笑顔でも喜びの涙でもない…全てを焼き殺そうとする炎だった。炎は瞬く間に実験所を飲み込み、親と研究所諸共灰と化した。

そこからは早く、追っ手から逃げるために燃える研究所を背に走り出したが当然向こうは歴戦の覇者達が集うUGN。すぐに追いつかれてしまい捕まった。(もしかしたら捕まった後に記憶を少し弄られてるかもしれないね！)
その後、何度か脱走を繰り返したが全て失敗に終わっている。

「私はソフィ·ヒューズ、ヒューズと呼んだら焼き殺しますから。あぁそれとも氷漬けにさせる方が良かったですか？」